

付) 調査票様式

統計的に分析するために、あなたご自身について教えてください。

〔全員にお聞きします〕

F1 あなたの性別を教えてください。（は1つだけ）

1. 男性	2. 女性
-------	-------

F2 あなたの年齢を教えてください。（は1つだけ）

1. 15～19歳	2. 20～29歳
3. 30～39歳	4. 40～49歳
5. 50～59歳	6. 60～69歳
7. 70歳以上	

F3 あなたのお住まいの地域は、次のどこにあたりますか？（は1つだけ）

1. 五泉地区	2. 村松地区
---------	---------

F4 あなたの職業を教えてください。（は1つだけ）

1. 自営業・家族従事者（農業）
2. 自営業・家族従事者（商業）
3. 自営業・家族従事者（工業）
4. その他自営業（開業医、宗教家、芸術家など）
5. 勤め人（常勤）
6. 勤め人（パート、アルバイト）
7. 内職
8. 家事専従者（いわゆる専業主婦・主夫）
9. 学生
10. 無職
11. その他 具体的に（ ）

F5 あなたは、結婚されていますか？（は1つだけ）

1. 結婚している（事実婚を含む）	F6へお進みください
2. 結婚したが、離別、死別した	F7へお進みください
3. 結婚していない	F7へお進みください

〔F5で「1. 結婚している（事実婚を含む）」と答えた方にお聞きします〕

F6 あなたは、共働きですか、それとも夫婦どちらか一方が働いているご家庭ですか？

（ は1つだけ）

- | |
|--------------------------|
| 1. 共働きしている（パートタイムなどを含む） |
| 2. 夫のみが働いている |
| 3. 妻のみが働いている |
| 4. 夫婦とも働いていない（退職した場合を含む） |
| 5. その他（) |

〔全員にお聞きします〕

F7 あなたには、18歳以下のお子さんがいますか？ （ は1つだけ）

- | |
|---------|
| 1. いない |
| 2. 1人いる |
| 3. 2人いる |
| 4. 3人いる |
| 5. 4人以上 |

F8 あなたのご家族の構成（同居の家族のみ）は、次のうちどれですか？ （ は1つだけ）

- | |
|-----------------|
| 1. 単身世帯（一人暮らし） |
| 2. 夫婦のみ |
| 3. 親と子（2世代） |
| 4. 祖父母と親と子（3世代） |
| 5. その他（) |

男女共同参画に関する意識などについて、以下の質問にお答えください。

結婚、家庭、人生観などについて

〔全員にお聞きします〕

問1 家庭や結婚などに対する以下のそれぞれの意見について、どのように思いますか？
あなたの考え方に最も近いものをそれぞれ1つずつ選んでください。

(はそれぞれ1つずつ)	そう思う	どちらか と言えば そう思う	どちらか と言えば そう思 わない	そう思 わない	どちら ともい えない
	(1) 男は仕事、女は家庭を中心にする方がよい	1	2	3	4
(2) 男は男らしく、女は女らしくした方がよい	1	2	3	4	5
(3) 男女とも平等に家事をした方がよい	1	2	3	4	5
(4) 子どもが小さいときには母親が子育てに専念すべきである	1	2	3	4	5
(5) 女性は仕事を持つのはよいが、家事・育児はきちんとすべきである	1	2	3	4	5
(6) 結婚は個人の自由であるから、人は結婚しなくてもどちらでもよい	1	2	3	4	5
(7) 結婚しても、必ずしも子どもを持つ必要はない	1	2	3	4	5
(8) 一般に、今の社会では離婚すると女性の方が不利である	1	2	3	4	5

〔F5で「1. 結婚している(事実婚を含む)」と答えた方にお聞きします〕

問2 あなたの家庭では、以下の家事を、主に誰が分担していますか？
この中からそれぞれ1つずつ選んでください。

(はそれぞれ1つずつ)	夫	妻	子ども	家族 全員	その他 の人	わから ない
	(1) 掃除	1	2	3	4	5
(2) 食事のしたく	1	2	3	4	5	6
(3) 食事の後片付け、食器洗い	1	2	3	4	5	6

問4へお進みください。

〔F5で「2. 結婚したが、離別、死別した」か「3. 結婚していない」と答えた方にお聞きします〕

問3 以下の家事について、どのように分担した方が望ましいと思いますか？

この中からそれぞれ1つずつ選んでください。

(はそれぞれ1つずつ)	夫	妻	子ども	家族 全員	その他 の人	わから ない
	(1) 掃除	1	2	3	4	5
(2) 食事のしたく	1	2	3	4	5	6
(3) 食事の後片付け、食器洗い	1	2	3	4	5	6

〔全員にお聞きします〕

問4 仕事と家庭生活について、女性の生き方として望ましいと思うのは、どのような生き方ですか？ (は1つだけ)

1. 家庭生活よりも、仕事に専念する
2. 家庭生活にも携わるが、仕事を優先させる
3. 家庭生活と仕事を同じように両立させる
4. 仕事もするが、家庭生活を優先させる
5. 仕事よりも、家庭生活に専念する
6. わからない

問5 仕事と家庭生活について、男性の生き方としてはどう思われますか？ (は1つだけ)

1. 家庭生活よりも、仕事に専念する
2. 家庭生活にも携わるが、仕事を優先させる
3. 家庭生活と仕事を同じように両立させる
4. 仕事もするが、家庭生活を優先させる
5. 仕事よりも、家庭生活に専念する
6. わからない

問6 仕事と地域活動(町内会、PTAなど)について、女性の生き方として望ましいと思うのは、どのような生き方ですか？ (は1つだけ)

1. 地域活動よりも、仕事に専念する
2. 地域活動にも携わるが、仕事を優先させる
3. 地域活動と仕事を同じように両立させる
4. 仕事もするが、地域活動を優先させる
5. 仕事よりも、地域活動に専念する
6. わからない

問7 仕事と地域活動(町内会、PTAなど)について、男性の生き方としてはどう思われますか？
(は1つだけ)

1. 地域活動よりも、仕事に専念する
2. 地域活動にも携わるが、仕事を優先させる
3. 地域活動と仕事を同じように両立させる
4. 仕事もするが、地域活動を優先させる
5. 仕事よりも、地域活動に専念する
6. わからない

職業生活について

〔全員にお聞きします〕

問8 あなたは現在、働いていますか？(学生の方のアルバイトは除いてください)
(は1つだけ)

1. 働いている
2. 働いていない

問9へお進みください

問12へお進みください

〔問8で「1.働いている」と答えた方にお聞きします〕

問9 あなたが、現在働いているのは、どのような理由からですか？
次の中から3つまで選んでください。(は3つまで)

1. 生計を維持するため
2. 家計の足しにするため
3. 個人として経済的に自立したいから
4. 自分の能力、技能、資格を活かすため
5. 視野を広げたり、友人を得るため
6. 社会に貢献するため
7. 仕事をすることが好きだから
8. 働くのが当然だから
9. 時間的に余裕があるから
10. 家業であるから
11. その他()
12. わからない

問10 あなたの今の職場では、仕事の内容や待遇面で、女性は男性に比べ差別されていると思いますか？別にそのようなことはないと思いますか？(は1つだけ)

1. 差別されていると思う
2. そのようなことはないと思う
3. わからない

問11へお進みください

問14へお進みください

問14へお進みください

〔問10で「1. 差別されていると思う」と答えた方にお聞きします〕

問11 差別されているのは具体的にどのようなことですか？次の中から3つまで選んでください。（は3つまで）

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1. 給与等が低い2. 昇進・昇格が遅い(しない)3. 能力を正當に評価されない4. 補助的な仕事しかやらせてもらえない5. 幹部職員に登用されない6. 結婚したり子どもが生まれたりすると、勤め続けにくい雰囲気がある7. 定年まで勤め続けにくい雰囲気がある8. 研修や訓練を受ける機会が少ない9. その他()10. わからない |
|---|

問14へお進みください

〔問8で「2. 働いていない」と答えた方にお聞きします〕

問12 あなたが働いていないのはどうしてですか？次の中から3つまで選んでください。（は3つまで）

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1. 経済的に働く必要がないから2. 職業を持たない方が、自分のやりたいことができるから3. 家にいるのが当然だから4. 家事の負担が大きいから5. 育児の負担が大きいから6. 健康や体力に自身がないから7. 希望どおりの仕事を得られないから8. 配偶者や子どもなど家族が望まないから9. 親や病気の家族の世話をするため10. 現在、学校に通っているから11. 高齢だから12. 働くことに向いていないから13. 働くことが好きでないから14. その他()15. わからない |
|--|

問13 あなたは将来、働きたいと思いますか？（は1つだけ）

1. すぐにでも働きたい
2. 将来は働きたい
3. 働くつもりはない
4. わからない

〔全員にお聞きします〕

問14 一般的に女性が仕事を持つことについて、あなたはどのように思いますか？（は1つだけ）

1. 持たない方がよい
2. 結婚するまでは持つ方がよい
3. 子どもができるまでは持つ方がよい
4. 子どもができてもしっかり続ける方がよい
5. 子どもができたらいったん辞め、大きくなったら再び持つ方がよい
6. その他（ ）
7. わからない

問15 女性が働き続けやすい社会にするためには、どのようなことが必要だと思いますか？
次の中からいくつでも選んでください。（は、あてはまるものすべて）

1. 給与等の男女間格差解消
2. 育児休業制度の充実
3. 育児休業をとりやすい職場環境づくり
4. 育児休業中の給与等の保障
5. 介護休業制度の充実
6. 介護休業をとりやすい職場環境づくり
7. 介護休業中の給与等の保障
8. 結婚、出産、育児、介護のために退職した職員の再雇用制度の充実
9. 総労働時間の短縮
10. フレックスタイム制や在宅勤務の導入
11. 育児施設などの整備
12. 介護施設などの整備
13. （働くことに対する）女性自身の自覚、意欲や能力の向上
14. （女性が働くことに対する）家族や周囲の理解と協力
15. （女性が働くことに対する）男性の意識の変化
16. 女性は家庭を守っていればよいので、必要なことはない
17. その他（ ）
18. 特になし
19. わからない

問16 あなたは今後、もっと女性が様々な分野に社会参画を進めた方がよいと思いますか？
(は1つだけ)

1. よいと思う
2. どちらともいえない
3. よいとは思わない
4. わからない

問17へお進みください

問18へお進みください

〔問16で「1. よいと思う」と答えた方にお聞きします〕

問17 今後どのような分野で女性の社会参画が進んだ方がよいと思いますか？
次の中からいくつでも選んでください。(は、あてはまるものすべて)

1. 都道府県知事、市区町村長
2. 国会議員、都道府県議会議員、市区町村議会議員
3. 国の省庁、都道府県庁、市町村の役所・役場
4. 大学・研究所などの研究者
5. 弁護士・医師などの専門的職業
6. 農業・漁業などの従事者
7. 運輸・建設業など女性の少ない職場
8. 企業の管理職、労働組合や農業協同組合の幹部
9. 町内会、PTAなどの役員
10. その他()
11. わからない

〔全員にお聞きします〕

問18 男性が働き方を見直し、仕事と家庭などの活動を両立するには、どのようなことが必要だと思いますか？次の中からいくつでも選んでください。(は、あてはまるものすべて)

1. 男性が、仕事中心の生き方等を改め、家事などに参加することへの抵抗感をなくす
2. 女性が、男性の家事・育児参加への抵抗感をなくす
3. 家庭で「家事などは家族みんなで分担するのが当たり前」ということを子どもの頃から教育する
4. 学校で、男女平等意識を育てる教育をする
5. 企業で、男女共に仕事と家庭生活を両立できる職場環境を整える
6. 地域で、男性が家事・育児をしていることに対して偏見の目で見ない
7. 国や地方公共団体で、男女の役割分担意識をなくすための啓発活動を充実させる
8. (男性も)とやすい育児休業制度の充実や育児休業をとしやすい職場環境づくり
9. 育児休業中の給与等の保障
10. 育児施設などの整備
11. (男性も)とやすい介護休業制度の充実
12. (男性も)介護休業をとしやすい職場環境づくり
13. 介護休業中の給与等の保障

男女の地位の平等について

〔全員にお聞きします〕

問19 今の日本では、次のような面における男女の地位の平等について、どのように思いますか？それぞれ1つずつ選んでください。

(はそれぞれ1つずつ)	男性の方が 優遇されて いる	平等である	女性の方が 優遇されて いる	わからない
1. 家庭の中で	1	2	3	4
2. 職場の中で	1	2	3	4
3. 社会習慣(しきたり)について	1	2	3	4
4. 法律や制度の面で	1	2	3	4
5. 政治・経済活動の場で	1	2	3	4
6. 学校教育の場で	1	2	3	4
7. 地域社会の中で	1	2	3	4
8. 社会全体でみた場合	1	2	3	4

問20 今後、男女が社会のあらゆる分野でもっと平等になるために、必要なことは何だと思えますか？次の中から3つまで選んでください。(は3つまで)

1. 女性も、社会や組織を支える一員であるという認識を持つこと
2. 職場で、女性の能力や考え方を尊重すること
3. 従来、男性がつく職業・女性がつく職業と考えられていた仕事に進出すること
4. 政治の場、公的機関や企業などにおける方針決定の場へ進出すること
5. 技能、技術、資格などの習得・取得により、能力を向上させること
6. 男性が、家事・育児などに参加することに対する抵抗感をなくすこと
7. 経済的に自立すること
8. 仕事中心の生き方・考え方を改め、仕事と家庭生活のバランスがとれた生き方をすること
9. 家事・子育てや介護などについて、知識や方法を取得すること
10. 家庭で、家事・子育てや教育などを男女で分担すること
11. その他()
12. わからない

男女の人権について

〔全員にお聞きします〕

問2 1 あなたは、セクシュアル・ハラスメント(=セクハラ。性的いやがらせ、性的・差別的な言動をいう。)を受けたことがありますか? (は1つだけ)

- 1. ある
- 2. ない

問2 2へお進みください

問2 3へお進みください

〔問2 1で「1. ある」と答えた方にお聞きします〕

問2 2 あなたは、どこでセクハラを受けましたか? 次の中から該当するものをすべて選んでください。(は、あてはまるものすべて)

- 1. 職場
- 2. 学校
- 3. 地域(町内会、PTA など)
- 4. その他()

問2 3 あなたは、次のような暴力を配偶者やパートナーから受けたことがありますか? (は1つだけ)

- 1. 身体的暴力のみ
- 2. 心理的脅迫のみ
- 3. 性的強要のみ
- 4. 身体的暴力と心理的脅迫
- 5. 身体的暴力と性的強要
- 6. 心理的脅迫と性的強要
- 7. 身体的暴力と心理的脅迫と性的強要
- 8. ない

